



2025年5月13日

各位

上場会社名 株式会社 I Kホールディングス  
代表者 代表取締役会長兼 CEO 飯田 裕  
(コード番号 2722 東証スタンダード・名証 プレミア)  
問合せ先責任者 常務取締役管理統括 高橋伸宜  
(TEL. 052-380-0260)

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり資本コストや資本収益性について現状分析・評価をし、改善に向けての取組方針について決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状分析・評価

当社は、ROEを経営の重要な指標の一つに捉え、その目標としてROE20%以上を目指して経営を推進しております。直近期の2024年5月期ではROE10.7%となっており、当社が認識する株主資本コスト約6%を上回っているものの、それ以前の2会計期間では業績の低迷によりROEもマイナスとなっております。PBRは過去10年間継続して、1.0倍を割ったことがありませんが、最近5年間では業績も下降傾向にあったことからPBRが低位で推移しております。このような状況下において当社は、再度成長フェーズに入ったことを示す経営成績を達成することが重要であると認識しております。

#### 【最近5年間の連結経営指標等】

(単位:千円)

	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
売上高	18,483,995	20,754,610	16,335,372	14,179,066	14,049,266
経常利益	623,750	730,620	△323,419	△205,196	340,056
親会社株主に帰属する当期純利益	384,064	321,317	△905,533	△463,533	229,458
ROE (%)	13.5	9.4	△36.0	△24.2	10.7
ROIC (%)	8.6	10.1	△5.0	△3.4	6.1
PBR (倍)	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5
PER (倍)	12.5	18.0	△4.5	△6.5	13.6
期末株価(円)	653	765	526	392	406

## 2. 方針及び目標

現状分析・評価を踏まえ、資本コスト及び資本収益性等を十分意識しながら、以下目標を継続的に達成できるよう、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

目標 ROE 20%以上の継続

## 3. 具体的な取り組みについて

### (1) 収益力の向上

中期経営計画「IK Way to 2027」を推進してまいります。2025年5月期から2027年5月期を当社のさらなる飛躍のステージと位置付けており、中期経営計画の達成を目指してまいります。

#### ① 商品面の強化

- ・韓国コスメのブーストアップを推進し、売上高で国内トップをめざす。
- ・開発・営業・調達部門の連携によるマルチ販路展開を見据えた商品開発力の強化。
- ・在庫回転率の向上を意識した適正在庫の維持とCCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル)指標の改善。

#### ② 販路面の強化

- ・EC専任部門を立ち上げ、ECモール及び自社サイトにおける売上拡大。
- ・海外事業の再チャレンジ。雑貨・食品・化粧品の海外展開。

#### ③ 環境面の強化

- ・フリータイム勤務制度、選べる時短労働勤務制度など多様な働き方の推進などによるサステナブルな経営を推進する。

#### ④ 人的資本面の強化

- ・中長期的な企業価値向上のため、給与の引き上げや働きやすい環境の一層の整備により優秀な人材の確保と研修制度を活用した人材育成への投資を推進する。

### (2) 株主還元

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題のひとつと考えております。将来の事業展開に備え内部留保による財務体質の強化を図りながらも戦略的な成長投資を行い、利益配分につきましては配当性向20%を目安とし実施してまいります。また、株主優待についても継続的に実施してまいります。

### (3) IR及びPR活動の継続強化

これまで行ってまいりましたIR及びPR活動を継続かつ強化することで当社グループの認知度向上に努めますとともに、グループの各事業会社の情報を適切かつ適時に発信してまいります。

また、当社グループの収益性や成長性を適切に評価いただくため、機関投資家に対する決算説明会、個別ミーティングを継続的に実施してまいります。

以上